



# 学びの成果を 社会に生かす

社会が大きく変化の中で、大学の学びも変化しています。これまで、大学の学びの多くは座学で専門スキルや教養を身につけることが中心でした。これからはその能力に加え、自らが積極的に自治体や企業、地域社会の問題に関心を持ち、在学期間中から社会と関わることが求められています。

京都精華大学では、2021年度より全学共通教育科目の中に「社会実践力育成プログラム」を立ち上げました。このプログラムは地域や企業等との連携プログラムを50近く用意し、社会実践力を身につけることを目指すとともに、学生の皆さんの夢に近づける機会を提供するものです。

「社会実践力育成プログラム」では、社会の様々な問題に対し、①解決ができる、②提案ができる、③調査ができる、④表現できることのいずれかの能力を身につけることを目標とします。本プログラムを通じて、社会の問題に取り組み、様々な他者の視点を取り入れ、自身の夢の実現のための一助になることを願います。

社会実践力を育成するために以下①～⑤のプログラムを提供します。  
社会実践力育成プログラム科目は、1科目2単位の選択科目になります。

- ①大学連携プログラム(大学間連携)
- ②インターンシップ1,2(キャリア・就職)
- ③海外ショートプログラム(国際連携)
- ④国内ショートプログラム(地域連携)
- ⑤産学公連携PBLプログラム1,2(産学連携・社会連携)

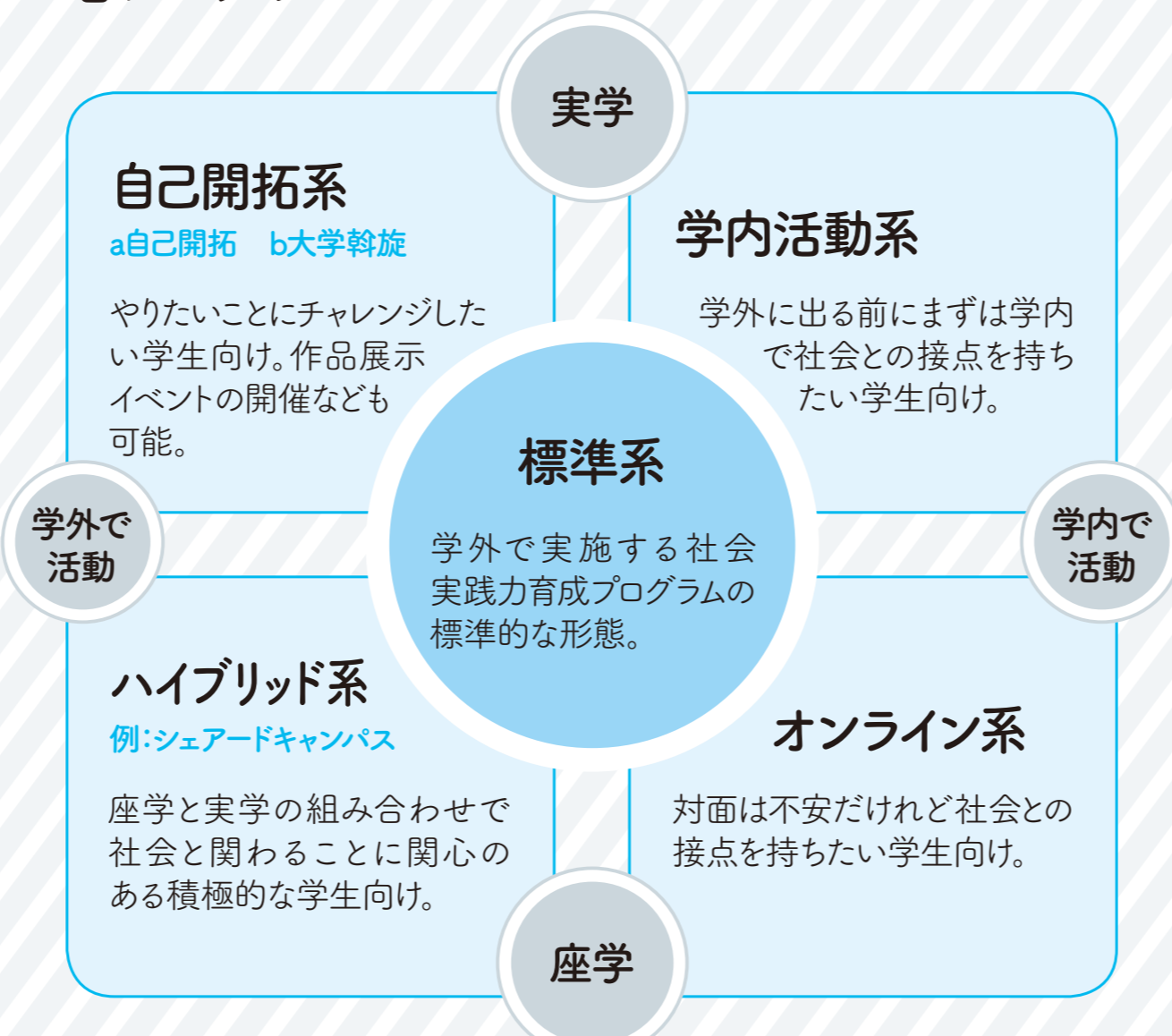
※①～⑤それぞれから履修が可能です

受講者数は1科目20名程度(一部科目除く)で、プログラムが行われる時期は、2Q集中か、4Q集中が中心です。

学外とつながること、体験や実践を伴うこと、短期集中で取り組めること、他学部の学生・教員と協働できることがプログラムの特徴です。

## 学びのフレームワーク

社会実践力育成プログラムにて開設する各プログラム



英語、中国語で  
サポート可能